

2018年1月10日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

CUVICmc2 でアプリケーションを冗長化するソリューションを提供開始  
障害時のダウンタイムを短縮することで基幹システムの安定稼働に貢献

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、基幹系特化型クラウド CUVICmc2 上でサイオステクノロジー株式会社(代表取締役社長:喜多 伸夫、本社:東京都港区、以下:サイオス)が提供する高可用性ソリューション「SIOS Protection Suite Linux v9 EE(以下:SPS-EE)」の提供を開始します。ライセンス価格は最小構成で月額 30 万円からです。1年間で 10 社の導入を目指します。

サイオスの SPS-EE は、SAP 社の SAP® S/4HANA に特化した高可用性ソリューションです。SAP® S/4HANA を構成するアプリケーションやインメモリーデータベース HANA の冗長化と監視、障害時の自動復旧を可能にします。

CTC の CUVICmc2 は、SAP® S/4HANA をはじめとする基幹系システムに特化した、システムの安定稼働と高いセキュリティが特徴の IaaS 型クラウドサービスです。SAP® S/4HANA の IaaS 基盤として多くの実績があり、SAP 製品向けのソリューションや運用サービスを提供しています。今回、CTC は SPS-EE を提供することにより CUVICmc2 上で稼働するお客様の SAP アプリケーションの可用性を向上します。例えば、SAP アプリケーションの障害時におけるダウンタイムを 20 分の 1 に短縮します。SPS-EE の導入にあたり、CTC は設計・構築と障害対応や対策を含めた一元的なサポート窓口を提供します。

今後も、CTC は CUVICmc2 上で基幹システムの開発、試験、本番環境間でのデータ移行をシームレスに実現するツールの提供をはじめとして、利便性の向上や機能拡充を図ることで基幹システムのクラウド化を支援していきます。

■サイオステクノロジー株式会社について

サイオステクノロジーは、Linux に代表されるオープンソースソフトウェアの開発と利用を軸に、自社開発ソフトウェア製品の販売とサービスの提供を行っています。直近では、クラウドコンピューティングの技術領域、AI(人工知能)、Fintech(金融技術)に注力しています。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:[press@ctc-g.co.jp](mailto:press@ctc-g.co.jp)